

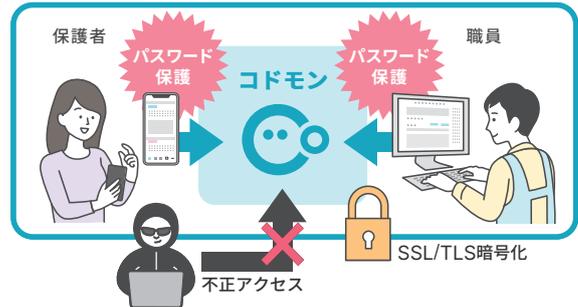
コードモンのセキュリティ対策について

大切な保護者や施設の個人情報を守るために

コードモンをより安全にご利用いただくために実施しているセキュリティ対策についてご紹介します。情報を暗号化したり、施設外からのアクセスを拒否したりといった様々な取り組みを行っております。

暗号化による安心のデータ通信

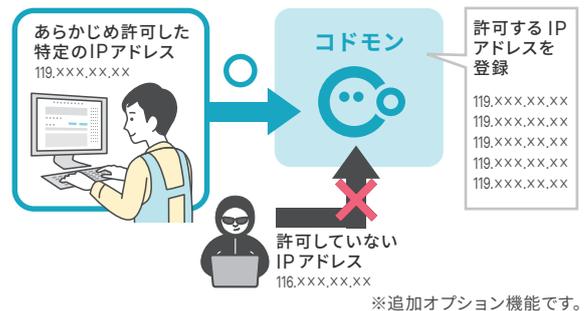
コードモンでは個人情報の登録や送受信をする際、TLS (Transport Layer Security) を利用しております。本紙面では「SSL/TLS」と表記します。SSL/TLSとは、証明書認証局からウェブサーバー向けに発行されるデジタル証明書の一つであり、インターネットを通じたサーバとブラウザの二者間通信を外部の危険から保護する目的で開発されました。このSSL/TLSによるセキュリティ強化により、ウェブサイト (WEBサーバー) からの発信データ改ざんの防止や、ユーザー (ブラウザ) の入力・送信データの暗号化による内容の保護を実現しております。安心してご利用いただけるシステムです。



外部アクセスを遮断するIPアドレス制限

一般にコードモンのようなASPサービスは、インターネットにつながる環境さえあれば、どこからでも利用できるという特徴があります。今までは、この利便性が注目されてきましたが、今日では個人情報などの漏洩が取り上げられるようになり、ASPを利用することにセキュリティ面で不安を感じるお客様がいらっしゃいます。

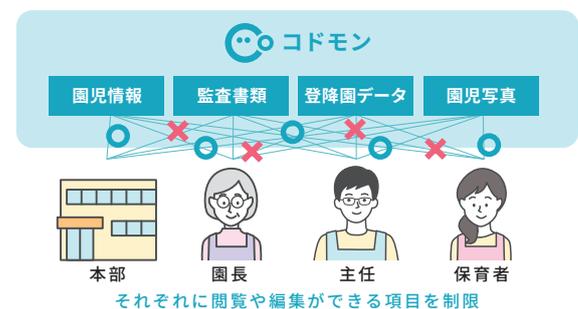
しかし、コードモンでは、利用者が接続できるIPアドレスを制限できます。固定IPアドレスを取得していることが前提となりますが、この機能を利用することで、職員の個人携帯/パソコンや外部の情報端末からの利用を防ぎ、園の中など特定の場所からしかコードモンを利用できないよう制限することができます。



※追加オプション機能です。

権限・ロールによる職員ごとのアクセス権設定

コードモンにはさまざまなデータや情報が登録されます。園児/児童や保護者の個人情報ははじめ、監査用の書類や登降園/入退室情報など、登録されたデータが全ての職員に閲覧されてしまえば、全職員に公開できる情報しか登録できません。これでは、情報共有として不十分です。情報共有を円滑に行うために、コードモンでは、アクセス権を設定することができます。具体的には、「本部」「施設長」「主任」「一般職員」等で、それぞれに閲覧や編集ができるデータ項目に制限をかけることができるため、適切に情報を管理することができます。



それぞれに閲覧や編集ができる項目を制限

国内のデータセンターで安全に管理

コードモンは世界で最も信頼性の高いAmazon Web Services (以降、AWS) を採用し、お客様へサービスの提供をしております。日本国内でも多数の企業がAWSを利用しユーザーサービスの要としております。AWSは多くの第三者認証を取得しており、信頼性の高い各種の認証、認定を多数受けており、データセンターとして信頼度の高い環境です。また、コードモンでは万が一のデータ破損や消失時のリスクを防ぐため、1日に複数回サーバー上の全てのデータをバックアップし安全に保管しております。

powered by AWS



株式会社コードモンは情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) の認証基準である「JIS Q 27001:2014 (ISO/IEC 27001:2013)」を取得しています。「ISO 27001」は、情報セキュリティ管理に対する国際水準の第三者適合性評価制度です。